www.printo.it/pediatric-rheumatology/JP/intro

ライム関節炎

版 2016

3.日常生活

3.1ライム関節炎は，お子さんやそのご家族の日常生活にどの様な影響を与える可能性がありますか？

関節痛や関節可動域制限のために，お子さんがスポーツをする際に，以前のようには早くは走れないなどの問題を経験するかも知れません。多くの患者さんではライム関節炎の症状は軽いため，軽微で一時的な問題で済むことが多いです。

3.2学校生活については？

一時的には，体育の授業への参加を見合わせる必要が生じる可能性があります。どの運動なら参加できるのか否かを，自分自身で決めるようにすると良いでしょう。

3.3スポーツは出来ますか？

スポーツをするかしないかは，自分自身で判断すると良いでしょう。お子さんがスポーツチームに所属していて決められた練習メニューがあるのであれば，患者さんの希望に沿うように練習量を減らすなどの調整を行うと良いでしょう。

3.4食事療法は？

育ち盛りのお子さんにとって，十分なタンパク質とカルシウムとビタミン類を含むバランスのとれた食事は望ましいものです。食事内容を変更してもライム関節炎の経過に影響は与えません。

3.5ライム関節炎の経過に天候は影響しますか？

マダニは高温多湿な環境を必要としますが，関節に感染が成立した後には，気候変動が病気の経過に影響することはありません。

3.6予防接種を受けられますか？

ワクチンの接種に支障はありません。ワクチンの効果や副反応に病気や抗菌薬治療が影響することはありません。ライムボレリア症に有効なワクチンは現時点では存在しません。

3.7性生活はどうでしょうか？ 妊娠や避妊についてはどうすれば良いのでしょう？

この病気による制約はありません。